

## 中国の教育について —受験戦争から教育改革へ—

姜 波\*<sup>1</sup>

### はじめに

中国では7月上旬に大学の入学試験が行われ、その熾烈さは「黒色の7月」と言われるほどである。激しい受験勉強、受験競争は、若者の心身ともに悪い影響を与え、深刻な社会問題にもなっている。中国の教育部（日本の文部科学省にあたる）が95年から45回にわたって通達を出し、小中高生の過重な負担を減らすようにと呼びかけている。しかし、学校側や生徒自身、保護者も負担を減らすと進学できないのではないかと心配し、精神的負担は増すばかりである。このような問題を視野に入れ、中国の教育の現状と問題点を見ていきたい。

### 激しい受験競争

激しい受験競争に繋がる主な原因は何なのか。第一に文化大革命の十年間受験が中断され、1967年から1977年にかけて人材の育成に大きな断層ができたこと。第二に急激な経済成長により学歴重視の傾向が表面化され、高等教育を受けた人材の需要が高まったこと。第三に国立大学一色だった中国では大学の進学率は78年では同齡者の3%、99年でも9%と21年の間わずか3倍の上昇にとどまっていること。第四に1980年9月25日から「一人っ子」政策が実施され、農村や少数民族にも少子化が進み、我が子を立派に育てようと願う親が子供の教育に力を入れること。第五に進学率の高い小中高校に人気が集まって、義務教育とされる小中学校もその知名度に応じた厳しい試験が課せられること。上記の原因で1978年に受験制度が再開されてから、中国の若者は大学に進学するために苛酷な受験勉強を強いられるのである。

中国の学校教育では点数と進学率が最も重要視されている。試験成績は張り出されて公表される。各クラスごとに順位が発表され、上位のクラスの担任には賞金が与えられる。成績は学生の優劣を決める

基準となり、教師の収入の目安になる。学校も進学率によって知名度が左右される。このような複雑で過酷な競争のなかで、試験問題の出題傾向も年々と難しくなっていく一方である。それに取り残されないように教師は宿題を増やし、学校での学習時間を延ばし、学生に対して詰め込み教育を強化する。生徒は宿題と試験に追われて遊びや休憩の時間が削られる。最高学年は体育の授業すら削られることが多々ある。

高校三年生は朝6時に登校、夜の9時に下校、中三の学生は朝6:45登校、晩は8時下校する。一日の在校時間は14時間以上にもものぼる。大連市聯合路小学校の4年生でも朝7時登校、午後4時下校である。児童の在校時間が非常に長いだけでなく帰宅後も宿題の山に追われる。

### 受験を重視する教育のもたらした結果

過酷な受験競争は多くの青少年の勉強に対する興味を失わせた。全国の小中高生を対象に行った調査によると「勉強が好きで学校に通っている」と答える小学生は8.4%、中学生は10.7%、高校生はわずか4.3%<sup>1)</sup>と低い率にとどまっている。そのほか登校拒否、家出、凶悪な犯罪の事例も増え、青少年の創造力を疲弊させ、応用能力も低下する傾向が目立っている。

また受験教育は小中高生の健康にも大きな害を与えている。天津第一病院では2000例の頸椎症患者の中で12%が青少年である<sup>2)</sup>。青少年の近視率が70年代の15%から90年代末に至って55%-80%に上昇している<sup>1)</sup>。国家統計局の統計によると中学2年生の近視率が45.17%、中三は54.79%、高一は69.63%、高三は70.88%と高い率にのぼる<sup>3)</sup>。そのほか体力の低下、敏捷性、体の柔軟度、忍耐力なども著しく低下していると統計が示している。

北京日報は「青少年の平均身長は日本人より低い<sup>4)</sup>」という統計を公表し、教育関係者、国民に警鐘を

\*1 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科  
(連絡先) 姜 波 〒701-0193 倉敷市松島288 川崎医療福祉大学

ならした。

東北地方では76の学校1万人余りの学生を対象に心理調査を行った。その結果35%の学生が心の病を抱えている<sup>1)</sup>と分かった。その症状とは42.86%が精神的に憂鬱、抑圧感、又は焦燥感がある、又は物事に集中できない。22.16%は非行に走り、又は攻撃的且つ残忍で、又は自虐行為があるという。その他、付き合いが苦手、又は嫌われるタイプとを感じる人が15.93%となっている<sup>5)</sup>。

これほど大勢の小中高生の身心に異常が生じているのは中国の学校教育の現場の厳しさを示していると言えよう。今やそれは深刻な社会問題の一つとして重視され、教育方針の見直しが急務であることを警告している。

### 教養を重視する教育改革へ

学校教育は本来子供達にとって未来の人生のために適切な準備をする、つまり「生きるための力」を身につける場でなければならないはずだが、受験のために、学生が健康が蝕まれ、学校教育の本来の目的に反する結果になってしまっている。このような実態を食い止めようと中国政府は学生の負担を減らすことを目的とした教育改革に関する通達を1995年から45回も出したのだ。去年江沢民主席は「教育問題に関する談話」を発表し、「教育方針を正し、教養を高める教育を重視し、青年学生が健全に成長するようにしなければならない」と指摘し、受験を重視する教育から教養を高める教育への転換を呼びかけた。

教養を高める教育の目的は学生の全教科の内容を充実し、学生の能力を引き出し、学生の個性を伸ばすことである。それは人類の発展に適応し、社会を発展させるために不可欠なことである。

教養を高める教育は点数だけを最重視する教育と違って知識を増やし、学生の創造力、技能、芸術性、意志、品性の向上を目指すものである。それに社会のルール、道徳を教え、智育、体育などと多様な教育を行い、学生の主体性、自主性を発揮させ、考える能力を育て、学生の能力に合わせて授業を行うのである。様々な授業の方法を工夫し、評価も成績だけではなく総合的に学生の能力を判断するのが望ましいとされている。

教育関係者、学生、保護者は教養を高める教育のメリットを認識しており、実験的に試行している。一方、進学率がそれにつれて低くなるのではという不安も隠せない。70%の保護者が子供の進学を懸念しているという<sup>6)</sup>。

学校によっては政府の方針に従って宿題を減らし、

生徒の在校時間を短縮する動きも見られた。しかしこれでは自分の子供が大学に進学できないと心配する保護者たちは家庭教師を雇ったり、参考書を買ったりして、子供の受験勉強を強化するため、学生たちは依然として厳しい受験勉強を免れないのである。

### 不安をなくし教養を高める教育を着実に

#### 1. 教師の学歴と資格を重視せよ

教師のレベルが高ければ、要領よく学生に知識を伝え、学生の想像力、創造力が上手に引き出せる。しかし政府の度重なる呼びかけにもかかわらずなかなか効を奏していない。教養を高める教育の実施の妨げとなる原因は、先ず小学校の教師のレベルが低いことが挙げられる。全国では小学校の教師が555.18万人で、その内230.60人が準教師（教師の資格が国に認められていない）で全国の教師全体の41.31%を占めている。その上臨時教員もおり、準教師と臨時教員を合わせると教師全体の48.95%にも達している。農村ではさらに深刻だ。中国人口の8割が住む農村では、準教師と臨時教員は合わせて76.38%で、専任教師を遙かに上回っている<sup>8)</sup>。これだけ多くの教師が国の基準に達していないまま小学校の教育に従事していることから、小学校の教育の問題点を垣間見ることができる。

中国では小学校の教師の地位や収入が低く、ちゃんとした学歴を持っている人は教師の仕事に敬遠しがちである。更に農村と都会の格差で、学歴のある人は農村での仕事を選ばないのが現実である。アジア週報の統計によるとアジアと太平洋地域における中国の教師の収入はランキング第40位である<sup>7)</sup>。

教師の収入を上げ、地位を向上させ、国家公務員の制度を導入し、教師を国家公務員として採用する方法は中国の教育改革に不可欠なことと思われる。教師の学歴、資格を厳しく要求すれば、教師のレベルも高められるだろう。教師のレベルが上がれば45分間の授業が効率よく行われ、生徒も宿題が少なくて済むだろう。

#### 2. 生徒の創造力を引き出す教材

去年創造力を育てるための新しい教科書も作り出された。これはアメリカ、イギリス、フランス、日本など21の国の教科書を研究、比較して、75名の専門家が共同で作ったものだ。2001年度からこの教科書を使う予定である<sup>8)</sup>。

従来の小中高校の国語の教科書は思想や政治が重視され、知識よりも政治宣伝、個人崇拜の傾向が強かった。しかし、新しい教科書の使用は学生の想像力、創造力を育てることを重視し、自然に密着し、実用性の高い内容を組み入れているため、その効果

が期待される。

3. 試験だけではなく、多様な評価方法の取り入れ  
教養を高める教育の評価の方法も試験、ディスカッション、考察力などと多様化されている。たとえば大連市聯合路小学校三年二組での国語のテストの内容はテレビ番組から知らない単語を調べ、例文を作ることである。そして一人一人に発表させ、先生はその生徒の説明のし方、文章の難易度、板書の良さなどによって総合的に評価する。このような評価方法に対して「おもしろかった」、「勉強になった」、「知らない単語が多くて迷ったが面白くて、実用性の高いものを選んだ」と生徒たちは感想を述べた。また山東省淄博市にある高校では「河川の汚染状況」を調べた結果、習った知識が生活に生かされ、応用力が鍛えられた。環境保護の意識も高められ、非常に有意義な授業となった。かつて化学・物理は室内の実験くらいしかすることのなかった生徒達に果樹・生物・機械、市場を観察させ、学生たちが自然の中で知識の応用を試みさせた結果、想像力・創造力が芽生え、育ち、飛躍したのである。

教育現場ではこれらの試みは多くの時間と手間がかかるが、従来の教師を主体とした教育を、学生を主役に換えるところまで発展させた。もちろんすべての科目をいつもこのような方法でやることはできないが、日常的に多彩に行うことにより学生の勉強に対する興味と意欲を引き出し、意志表現の能力を伸ばし、頼もしい教育効果が得られるものと思われる。

#### おわりに

ここ数年、教養を高める教育を実行するために、国

は年々大学の合格率を拡大し続けている。国の統計によると2000年中国の高等教育機関(大学・短大・専門学校を含む)に進学できた者の割合は52.5%に達した<sup>9)</sup>と発表された。先進国の進学率を見ると、イギリス(95年)は高等教育機関への進学率が65.5%、日本は(98年)48.9%、アメリカ(96年)は46.9%、フランス(95年)は46%<sup>10)</sup>となっている。つまり中国の進学率も先進国と肩を並べる水準になってきていると言える。しかし、中国の四年制の大学進学率は99年ではわずか9%<sup>11)</sup>と依然として低く決して楽観できないのである。国公立大学一色だった中国ではあるが経済体制が変化すると共に私立の大学が急ピッチで創設されている。現在ではすでに30校の民営大学に学位授与権が与えられ、157校が検討中で、のこりの1095校が学位の授与権は認められない<sup>12)</sup>という状況である。

中国は人口が多い上、国の教育に関する規制が厳しく、教育への投資が少ない。国の規制緩和を積極的にいき、レベルが高くて信用のできる大学をどんどん増設させ、社会的観念を更新して、民営の大学をも認めるようになれば、教養を重視する教育が着実に実行できるであろう。

国公立の大学の一本道という観念を換え、大学進学の外にも子供に適した道が沢山あり、受験に適応しない子供にまで健康を害するまで受験を強要しないのが賢明だと保護者、教師、社会がやがて気づくことであろう。

国民の文化水準を高めることが最も早急に取り込むべき問題である。

#### 文 献

- 1) 辜勝阻 学生の負担を減らし、教養教育の実施を。教育研究, 2000, 5, 11-55.
- 2) 天津第一病院の統計による。
- 3) 人民日報: 劉金, 中国の入試と教養教育。2000年12月30日。8.
- 4) 北京日報: 青少年の平均身長は日本人より低い。2000年11月16日。
- 5) 上海社会科学院 上海において世紀を超える社会問題を考えて。上海社会科学院出版。1994, P213.
- 6) 喬樹森 着実に学生の負担を減らす。普教視点, 2000, 第6期 37-38.
- 7) 人民日報: 王広甲。責任感のある人を求めて。2000年5月23日。P7.
- 8) 人民日報: 徐勇。創造力を養成することは世界教育の主題。2000年12月4日。3.
- 9) 人民日報: 今年の進学率状況。2000年7月7日。
- 10) 読売新聞: 大学は開かれた知識源。2001年1月4日。13.
- 11) 人民日報: 王広甲。責任感のある人を求めて。2000年5月23日。7.
- 12) 人民日報: 劉金。中国の入試と教養教育。2000年12月30日。8.

## On Educational Reform in China

Bo JIANG

(Accepted Jun. 7, 2001)

Key words : PREPARATORY EDUCATION, INFLUENCE ON STUDENTS, LIBERAL ARTS,  
THE RELAXATION OF REGULATION

Correspondence to : Bo JIANG

Department of Medical Social Work, Faculty of Medical Welfare  
Kawasaki University of Medical Welfare  
Kurashiki, 701-0193, Japan  
(Kawasaki Medical Welfare Journal Vol.11, No.1, 2001 167-170)